



2007年
3月号

マックスシールプレス

目次

- p1. __リハビリ紹介
- p2. __部署紹介 診療情報管理室
病気アラカルト 腎臓を長持ちさせるコツ!



《 外来処置室前カウンター 》



《 外来ロビー 》

毎月 ヘルスプロモーション 開催中です！！



《 リハビリの皆さん 》

リハビリとは？

何らかの原因により生じてしまった障害を有する患者様に対し、

- 疾病自体の治癒促進
- 身体的・精神的能力の回復
- 失われた機能の代償
- 住居の整備

を行い、患者様を取り巻くさまざまな環境を整備しようとするものです。また、一度失われた機能が回復した後、それを維持する役割もあります。

異病院でのリハビリ

リハビリと聞くと、怪我をした後に痛みを我慢しながら体を動かしているイメージが強いですが…リハビリと一言で言ってもいろいろなものが含まれます。動作能力の向上を目的に行う理学療法、はさみや習字といった日常生活に必要な動作の向上を目的に行う作業療法、言葉や食べる能力の向上を目的に行う言語療法・摂食嚥下療法など様々です。このなかでも異病院リハビリテーション科には理学療法士が在籍しており、患者様の治療に当たっています。

[外来リハビリ]

異病院では午前と夜に外来診療を行っています。昨年4月の診療報酬改訂により外来リハビリを取り巻く環境が厳しくなり、リハビリを受けられなくなった患者様(リハビリ難民)が急増したといわれています。異病院リハビリは患者様の障害を出来る限り取り除くことで、リハビリ難民を増加させないよう努力しています。

また、リハビリテーション科では月に1度(第3土曜日)ヘルスプロモーション(腰痛や肩こり等の予防教室)を実施しています。

普段健康に関心があっても、なかなかこのような『健康教室』などには参加しにくいと感じている方は多いと思います。そのような方々の体に関する様々な悩みを題材に、健康への意識を高めていただき、実際に体を動かす機会を設けています。皆様奮ってご参加ください。



《 リハビリテーション室 》

部署紹介



診療情報管理室 マネージャー 内田満貴

診療情報管理室は、診療情報を適切に管理・運用し、患者さまの診療などに役立つ情報を提供する部署として平成17年11月に開設された新しい部署です。

診療情報管理室では、主に入院診療録を集中管理し、その内容を点検し、完成した診療録を保管し、所在管理を行います。

入院診療録の主要な診断名に、疾病分類コードをつけてデータを集積します。そのデータを集計分析することにより医療の質の向上、よりよい診療を行うための指標、病院経営の資料として有効に活用できるよう加工し提供します。

また、患者さまと医療スタッフのコミュニケーションをよりよくする情報ツールとしての説明書や同意書などの文書類の整備や、患者さまと唯一向き合う業務としてカルテ開示窓口業務も行っていきます。

一人だけの部署ですが、各スタッフの協力を得ながら、よりよい診療を患者さまに提供できるよう貢献するのだという思いを持って日々努力を続けております。

病気アラカルト

腎臓を長持ちさせるコツ！！

血液浄化センター 金川医師



皆様こんにちは。当院で腎臓疾患を担当させていただいております金川です。今日は腎臓を長持ちさせるコツ？について1つ説明させていただきます。

皆様ご存じの通り腎臓は尿を作っています。では尿って何でしょう？(^.^)体で出来た不要なものを外に出しているわけですが、水分そしていわゆる尿毒素以外に過剰分のミネラルも含まれます。このミネラルの内、ナトリウムというものが非常に重要になってきます。そうです、いわゆる塩分を摂取することによってナトリウムが増えます。このナトリウムが高血圧を引き起こし、腎臓にダメージを与えます。そうするとさらに血圧が高くなっていき、悪循環を繰り返します。他に糖尿病による腎障害も最近非常に問題になっていますが、心臓、血管については腎臓にもダメージを与える塩分はほんとうにあなどれません。

WHO(世界保健機関)が推奨する1日塩分量はなんと6gです！まあこれは日本ではほとんどの方が実践できていないと思われます。(^^;日本人は欧米に比べ、圧倒的に塩分摂取が多いですから。難しい病気も多々ございますが、皆様まずこの塩分摂取を可能な限り低減することを本日はお奨めさせていただきますm(——)m

金川 (^.^)v